

兵庫医科大学病院

2027 年度理学療法士及び作業療法士（レジデント）募集要項

兵庫医科大学病院における理学療法士及び作業療法士レジデント制度は、卒業後に更なる臨床研修の機会を与え、チーム医療の一員として活躍・飛躍できるよう、より質の高い臨床療法士の育成を目標とする研修制度です。本制度は、1 年更新で 2 年まで在籍可能であり、急性期病院におけるリスク管理と生命の尊さを実感し、専門的知識により必要な評価を客観的に行い、特徴ある技能と患者に対する真摯な姿勢を培うことを目標とします。

募 集 人 数

若干名

応 募 資 格

2027 年 3 月に卒業し、理学療法士又は作業療法士の国家資格を取得見込の者

募集コース・研修期間

理学療法士及び作業療法士（レジデント）2 年間

作業療法士については、身体障害領域を中心としたローテーションとし、精神障害領域はその一部として（主に 2 年目に）選択可能とする。

研 修 場 所

兵庫医科大学病院 リハビリテーション技術部

プ ロ グ ラ ム

以下のリーフレット参照

募 集 締 切

2026 年 8 月 14 日（金）※必着

○提出書類 ①履歴書（「理学療法士レジデント希望又は作業療法士レジデント希望」と明記）、②成績証明書、③卒業見込証明書

※履歴書に連絡用のメールアドレスを必ずご記入ください。

※正職員と併願の場合は「正職員・レジデント併願希望」と明記してください。

○提 出 先 人事部病院人事課（下記参照）

研修開始予定日

2027 年 4 月 1 日

選 考 方 法

筆記試験、面接試験（選考試験日：2026 年 8 月 25 日【予定】）

手 当

月額 205,000 円 賞与なし、時間外手当あり、住宅手当なし、
通勤手当（上限 55,000 円／月）あり、社会保険等あり、
有給休暇 1 年目 10 日・2 年目 11 日、リフレッシュ休暇 3 日

問 合 先

兵庫医科大学 人事部病院人事課

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町 1 番 1 号

TEL 0798-45-6528（直通）

病 院 見 学

ご希望の方は下記もしくは見学フォームにてご連絡下さい。

PT 部門：E-mail【yamashin@hyo-med.ac.jp】又は TEL【0798-45-6358】担当：山内（理学療法士）

OT 部門：E-mail【hashishi@hyo-med.ac.jp】又は TEL【0798-45-6388】担当：橋本（作業療法士）

兵庫医科大学病院リハビリテーション技術部見学フォーム→<https://forms.gle/Je8axn5tdPCNqRgK7>





兵庫医科大学病院

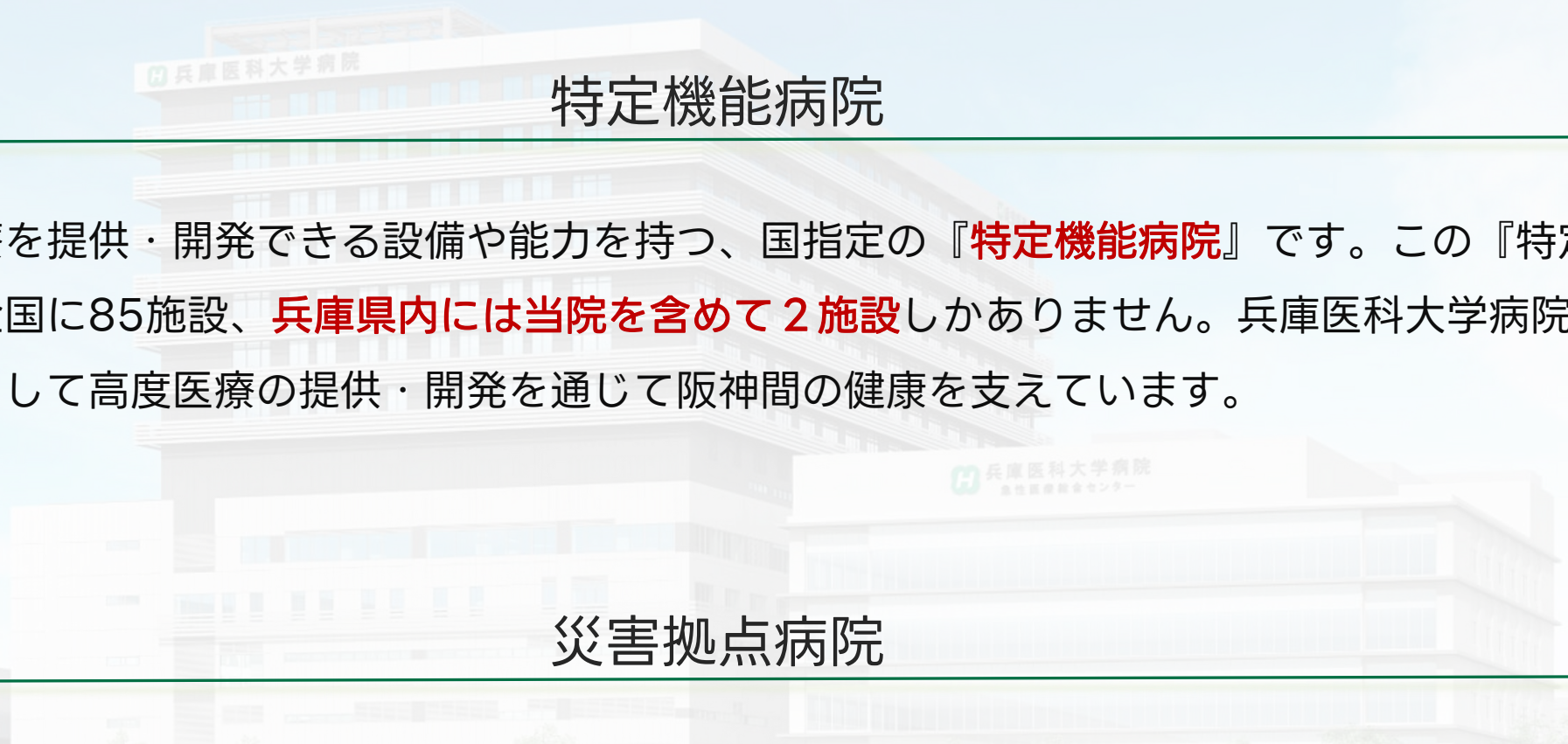


リハビリテーション技術部

HYOGO MEDICAL UNIVERSITY HOSPITAL / Department of Rehabilitation Medicine

2026年秋に新病院が開院予定



 兵庫医科大学病院ってどんな病院？

特定機能病院

高度先進医療を提供・開発できる設備や能力を持つ、国指定の『**特定機能病院**』です。この『特定機能病院』は全国に85施設、**兵庫県内には当院を含めて2施設**しかありません。兵庫医科大学病院は特定機能病院として高度医療の提供・開発を通じて阪神間の健康を支えています。

災害拠点病院

阪神間を支える『**災害拠点病院**』として、阪神淡路大震災やJR福知山線脱線事故を始め、東日本大震災、熊本地震、能登半島地震などでも積極的な救護活動を行ってきました。これからもいつ起こるかわからない災害に備えています。

兵庫医科大学病院 ってどんな病院？

県内最大規模の病院

963 床 41 科
【病床数】 【診療科】

診療・研究・教育・地域貢献の4本柱

大学病院は「**診療**」だけでなく、今後の治療に役立つ知見を得るための「**研究**」や、次世代を担う医療従事者への「**教育**」を兼ね備えた病院です。高度医療を必要とする患者さんに最適な医療を提供するとともに、地域の医師や医療職に向けた高度医療の研修などを通じて、広く医療の進歩に貢献していき、阪神間地域の中核病院として地元根付きながら「**地域に貢献**」することが我々の使命です。

理学療法士

Physical Therapist

45名

作業療法士

Occupational Therapist

17名

言語聴覚士

Speech Therapist

10名

計

total

72名

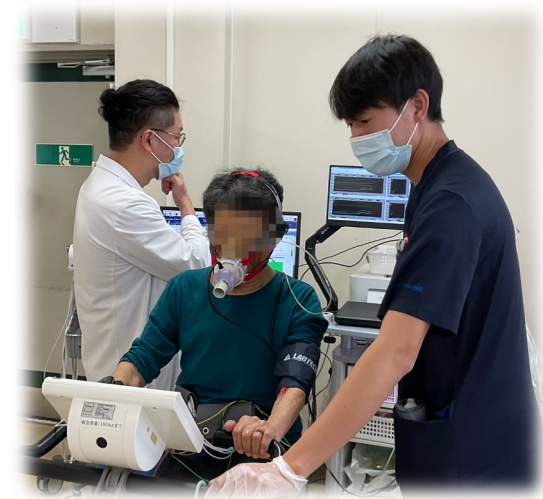
5年目以下 32名

レジデント 10名

(定員10名)

10年目以上 22名

臨床場面：理学療法



心大血管疾患



呼吸器疾患



集中治療領域



整形疾患



神経難病



脊髄損傷



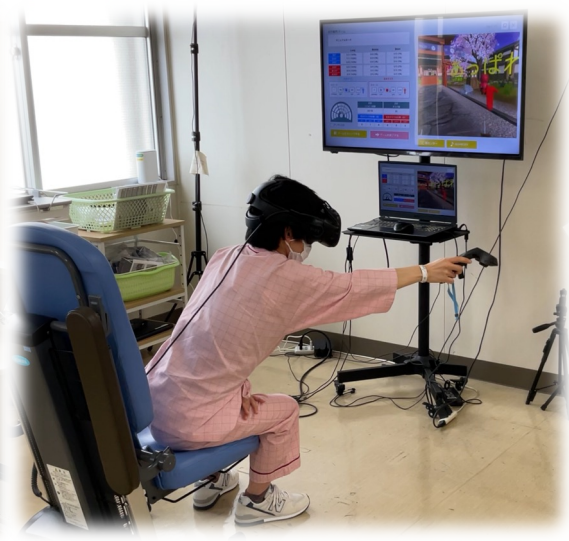
小児



脳卒中



がん疾患



VR機器など

臨床場面：作業療法

OT室での訓練



集中治療室での訓練



精神科作業療法



臨床場面：言語聴覚

摂食・嚥下訓練



高次脳機能検査



機器を用いた評価



吸引手技



発話訓練



1日のタイムスケジュール



8:00	出勤
8:30	カルテ閲覧、情報収集
9:00	ミーティング、カンファレンス
	臨床業務
12:00	休憩
13:00	臨床業務
	臨床業務
17:15	カルテ入力、各種事務処理、 指導者からのフィードバック 自己学習などの研鑽

定時勤務時間は 8:30～17:15

1日 9～12名の療法実施

業務後に研修会・勉強会に
参加することも

部内新人研修 実技



神経所見の評価



BLS



ROM



物理療法



呼吸評価



身体機能評価



介助方法



筋力増強訓練

たくさんの研修を行なっております

部内新人研修 実技



急変時対応



多職種連携のグループワーク



吸引についての講習会（座学・実技）



装具療法

たくさんの研修を行なっております

その他の研修

所属チームでの症例検討
チーム単位で新人を指導



看護部の研修に参加
点滴・急変時対応・感染対策

プリセプター制度



◀ 臨床に同行して指導

新人発表に向けた指導 ▶



チェックリストを用いて進捗管理

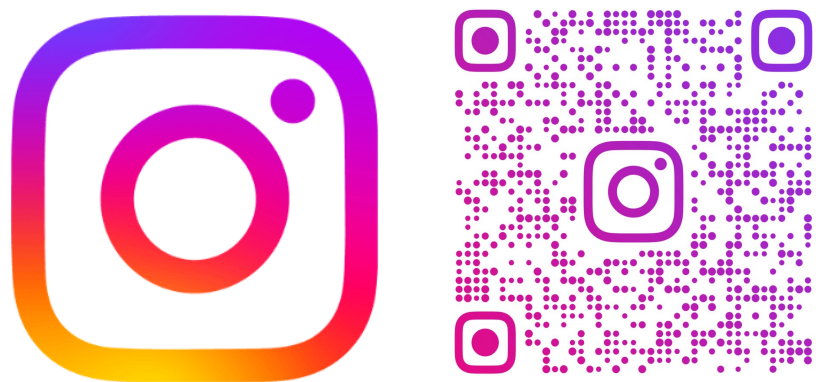


◀ チェックリストで経験した疾患・症例を管理

チェックリストを用いて
月に1度プリセプターと面談



【公式】 兵庫医科大学病院リハビリテーション技術部



hyomed_rehab



@hyomed_rehab

気になる方は病院見学を！お待ちしております！



兵庫医科大学病院 リハビリテーション技術部 - PT・OT レジデント制度 -

Resident Program in the Department of Rehabilitation Medicine, Hyogo University Hospital



当院におけるレジデント制度の理念

卒後のさらなる臨床研修の場を提供し、

急性期医療における知識と技術の向上を図るとともに、

患者さんに対する真摯な姿勢を培い、安全で質の高い療法が

実践できる療法士を育成する

レジデント制度の目的

急性期リハビリテーションの現場において、
専門職として主体的に判断し行動できる療法士を育成すること

急性期医療では、患者の状態変化が早く、判断のスピードと質の両立が求められる。

また、多職種連携の中で自らの専門性を適切に発揮しながら協働する力が不可欠である。

本制度は、そのような環境の中で求められる**思考力・判断力・実践力**を養うことを目指している。

レジデント制度に適する人材

- 急性期のリハビリテーション医療を深く学びたいと考えている人
- 多職種連携やチーム医療の中で成長したいと考えている人
- 自ら目標を立て、計画的に取り組むことができる人
- 受け身ではなく、能動的に学ぼうとする姿勢を持つ人
- 新しい環境や課題に対してチャレンジ精神を持って取り組める人
- 自身の専門性を磨くだけでなく、専門職としての在り方を問い続けられる人

当院のPT・OTレジデントの特色



< 部内の取り組み >

- 多くの専門領域に関するOJT
- STEPプログラム
- レジデント講義
- ピアサポート制度



< 部外・院外活動への参加 >

- レジデント合同研修会
- レジデントフォーラムの参加・発表
- 関連施設への見学

など



Point 1

多くの専門領域に関するOJT



- チェックリストを使用し、新人への指導内容の均てん化をはかっている
- レジデントの2年間で主要診療科のリハビリテーションを経験する機会を得る
- 指導者と月1回の面談で日々の振り返りを行う



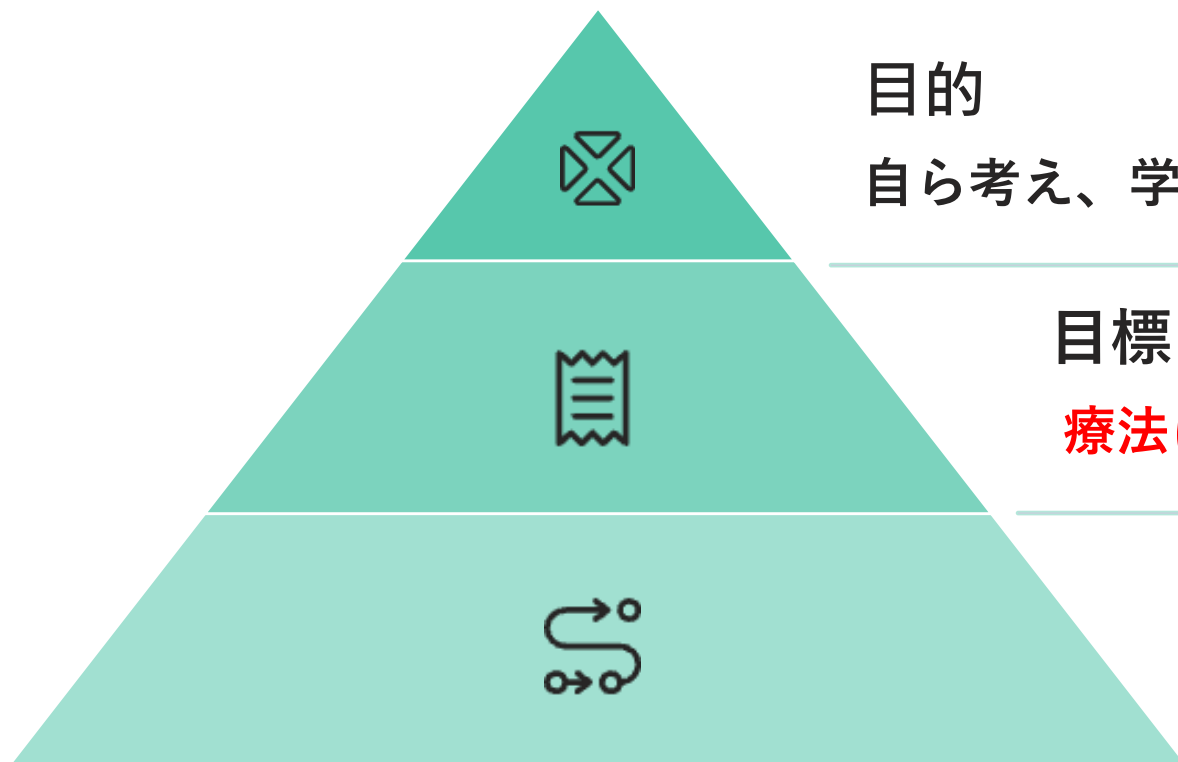
Point 2

STEPプログラム Steps Toward Evidence-based Practice

- EBP実践に向けた段階的学習プログラム
- クリニカルクエスチョンの立案から論文の検索、批判的吟味、現場への適応、アウトカムの解釈など**EBPのステップ**を段階的に学ぶ
- 講義の聴講だけではなく、**発表やグループワーク**を通じたレジデント同士の相互作用の中で学ぶ過程を提供している



STEPプログラムの目的と目標



目的

自ら考え、学び、実践する療法士を育成する

目標

療法におけるEBP実践力の育成

方法

講義・指導・議論・発表を通じた学習

レジデントを対象として文献検索や論文の読み方、批判的吟味、臨床への適応などEBPに関する体系的な学習を行う

STEPプログラム詳細

1回

実施頻度

月1回の定期的なセッション

60分

セッション時間

1時間で集中的に学習

50:50

インプットとアウトプット

講義の聴講とディスカッション・発表

専門的な指導を受けながら、実践的な知識を身に付けることを目的とする

- 1-2年目のレジデントが対象
- 毎回のテーマでインプットとアウトプットを組み合わせた講義構成
- 講義で出された課題に対して、**ペア**
(1年目と2年目) で取り組み発表する
- 講師は大学教員、大学院・レジデント
修了生が担当する

時期	テーマ
5月	レジデント交流会
6月	Evidence-based Practiceについて
7月	臨床疑問と文献検索
8月	論文の読み方
9月	SR&MAについて
10月	学会抄録の書き方
11月	研究デザインとバイアスチェック
12月	論文抄読会①
1月	論文抄読会②
2月	生成AI研修会/アウトカムの解釈
3月	プログラムのまとめ



Point 3

レジデント講義

- 2年目を対象に、1年目レジデントに向けた講義を担当する機会を設ける
- 各自がテーマを設定し、文献や資料をもとに内容を整理して発表を行うことで、知識を深めるだけでなく、情報を整理し相手に分かりやすく伝える力を養う
- また、その他の講義では**血液内科領域**や**小児領域**におけるリハビリテーション、**CI療法**などの専門的なテーマを取り上げ、リハビリテーションの対象や役割の広がりについて理解を深める





Point 4

ピアサポート制度

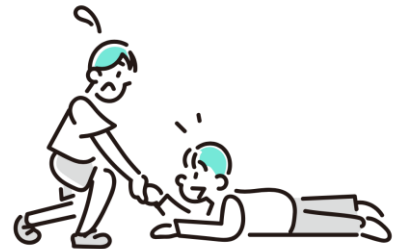
- 主にレジデント1年目を対象とする制度
- レジデントの1年目は不安や悩みが多い時期であるため、同じレジデント経験を持つ2年目の先輩がペア（ピアサポーター）となりサポートをする
- レジデントが安心して臨床と学習に向き合える環境を整える



ピアサポーターの役割

担当者	役割
プリセプター	臨床スキルや業務手順の指導
ピアサポーター	心理的サポート、気軽な相談相手

ピアサポーターは**対等な立場の伴走者**として、
同じ目線での関わりを大切にします





Point 5

レジデント合同研修会・フォーラム

- 全国のレジデント制度を導入している施設との合同研修会
- 講義や発表などを通して、同世代の療法士と繋がり学ぶ機会を得る
- 外部の基準や多様な考え方に触れることで、自分たちの立ち位置を知る

 兵庫医科大学病院

レジデント制度1年を振り返って
#ひとめぼれってやつ

兵庫医科大学病院 リハビリテーション技術部
理学療法士

急性期病院/レジデント制度を希望した理由

～臨床実習～
「指導者に良い格好をしよう」
「いい成績が欲しい」
患者に対して向き合えていない

原因
よく受け身
失敗を恐れる
完璧主義

✓患者の目指す生活を実現
✓自分の目指すPT像を実現

教育
・部内での症例検討や報告
・所属チーム内での勉強会など充実したOff-JT
・教員が指導するEBPTIに関する教育

臨床
・幅広い疾患の臨床経験
・multimorbidity患者の症例経験
・多職種での病棟カンファレンスへの参加

兵庫医科大学病院
レジデント制度

見て 聞いて 話して 学ぶ

第5回 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士
レジデントフォーラム

2026年2月1日（日）開催

会場 獨協医科大学日光医療センター
2F 大会議室

ハイブリット開催 参加費無料

現地参加申込は
1月20日まで

Zoom参加申込は
1月26日まで

参加申込はこちらをクリック
またはQRコードから

1月31日 懇親会
懇親会参加申込は締め切りました

事務局：獨協医科大学日光医療センターリハビリテーション部
担当：鶴田 mail: rml-f@u.ac.jp

【OJT : On the job training】



【Off JT : Off the job training】



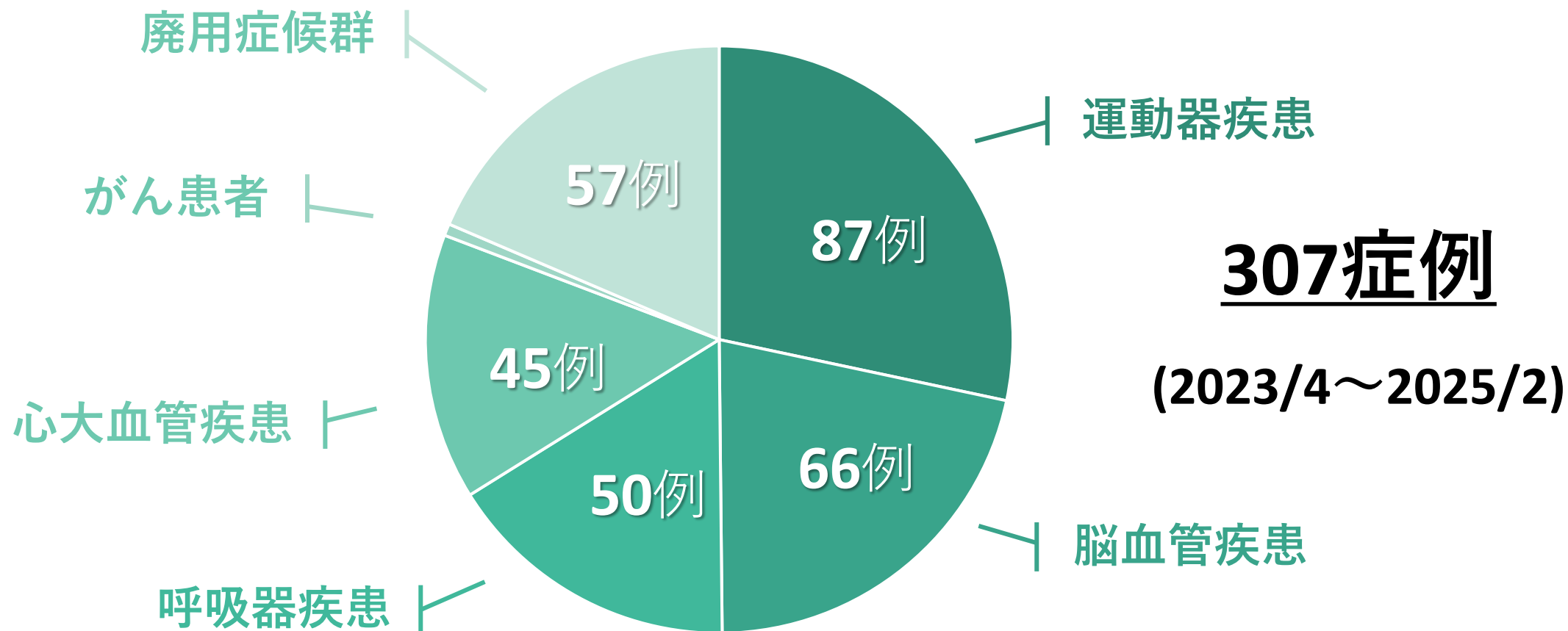
【自己啓発】



当院レジデント制度の特色

- 研修カリキュラムは2年間
- OJT : 実臨床での研修、近隣病院への臨床見学
- Off JT : 臨床以外の講義をはじめとする研修
- 自己啓発 : 学会発表支援、学会・研修費用支給

参考: PTレジデント2年間の担当症例



EMPOWER THE PEOPLE

心に響く医を、私たちがいるかぎり



@hyomed_rehab



hyomed_rehab